

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	414	2年	前期	臨床検査学科	必修	臨床検査総論 Laboratory Medicine	30	2
担当教員								
祇園	由佳							
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	○ ② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	○ ③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	○ ④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
臨床検査の基本である「一般検査」の重要性を理解する。 各種一般検査法（尿、糞便、喀痰、脳脊髄液、胃液、穿刺液、鼻腔拭い液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液検査）の検体採取法や各検査法の検出原理、検査成績の臨床的意義、検査成績に影響をおよぼす要因等について理解し、説明できるようになる。さらに、採血法（その法的根拠、臨床検査技師に認められた採血行為の範囲、感染予防、患者急変時の対応など）について学び、「臨床検査総論実習」や「臨地実習」に活かす。								
到達目標（授業目標）								
①尿定性検査の各種検出原理を理解する。								
②尿沈渣成分の特徴や臨床的意義を説明できる。								
③採血方法や、採血時の注意点について説明できる。								
④各種一般検査についての臨床意義・検査法、検査結果から推測できる疾患を説明できる。								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	腎機能と尿検査：腎臓の構造・機能、ネフロンの構造と機能							
2回	尿検査の基礎：尿検査の必要性、尿の組成、尿の外観・性状							
3回	尿の化学的検査法（1）：尿検体の取り扱い、尿比重、尿浸透圧、尿pH							
4回	尿の化学的検査法（2）：尿定性試験紙の取り扱い、尿蛋白定性・定量、尿糖定性・定量法、アセトン体、ビリルビン							

5回	尿の化学的検査法（3）：ウロビリニン体、ポルフィリン体、フェニルケトン体、アルカプトン								
6回	尿の化学的検査法（4）：血尿・ヘモグロビン尿・ミオグロビン尿、5-HIAA、VMA、メラノゲン、脂肪、妊娠反応、アスコルビン酸、腎機能検査、細菌尿、尿中白血球								
7回	尿沈渣（1）：標本作製法、各種染色、記載方法								
8回	尿沈渣（2）：各種血球・上皮細胞・円柱・結晶成分の形態と臨床的意義、自動分析装置								
9回	検体の取り扱い：便・喀痰・血液・胆汁・髄液・気管支肺胞洗浄液などの取り扱い								
10回	糞便検査：糞便の基礎知識、一般的性状、各種検査法								
11回	脳脊髄液検査：脳脊髄液の基礎知識、一般的性状、各種検査法								
12回	精液検査、喀痰検査：精液および喀痰の基礎知識、一般的性状、各種検査法								
13回	鼻腔・咽頭からの検体採取：検査意義、検体採取法、患者急変時の対応等、採取に関する注意事項								
14回	その他の体液：穿刺液・胃液等の基礎知識、各種検査法								
15回	臨床検査技師の採血：法的根拠、採血法、患者急変時の対応等、採血に関する注意事項								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
期末試験（60%）と小テスト（40%）により評価する。トータル60点以上を合格とする。									
教科書	三村邦裕・宿谷賢一「最新臨床検査学講座 一般検査学」（医歯薬出版）								
参考図書等	河合忠・伊藤喜久・堀田修・油野友二「最新尿検査 その知識と病態の考え方 第3版」（株式会社メディカルジャーナル社）、三								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
授業内容について小テストを実施するため、復習を必要とする。									
関連科目									
前科目									
後科目	415	臨床検査総論実習							
実務家教員									
臨床検査技師（医療機関）	祇園 由佳								
備考									